

講習会のご案内

ISO-9001品質マネジメントシステムに役立つ！

## 分銅の自主校正 講習会

—修了証書を発行します—

一般社団法人 京都府計量協会

ISO-9001品質マネジメントシステムの2015年版では、これまで以上に計量のトレーサビリティの確保が求められています。一方で、計測機器の校正に係るコスト削減も求められているところです。そのためには、すべてを校正事業者任せではなく、可能な限り自社で校正することが最良の手段であります。使用者自らが校正することは、最適な計測機器を選択する上でも、大きな意義があります。

生産や試験・分析・検査の現場では、使用しているはかりがその業務に必要な精度(不確かさ)が確保できていることを確認するために点検用分銅が使われておりますが、この講習会では、これらの分銅を不確かさの付いた校正を行う方法について、講習を行います。分銅の自主校正は、既存のはかりの自主点検体制のままでトレーサビリティ性が確保でき、ISO-9001品質マネジメントシステムの効率的運用に役立ちます。また、分銅の自社校正により計量管理コストの軽減につながることも期待されます。

### 記

1 開催日時 平成29年1月30日(月) 9時30分～16時30分

2 開催場所 京都府計量検定所 3階 会議室  
〒602-0918 京都府京都市上京区薬屋町431番地  
(京都市営地下鉄烏丸線 今出川駅南に徒歩5分)  
TEL 075-415-3166

3 対象者 計量士、一般企業のISO計量管理実務担当者  
(但し、推定と検定や不確かさについての基礎的な知識を有する方)  
(注) 本講習の内容は校正事業者向けには対応しておりません。

### 4 講習内容

JCSS校正を受けた分銅を標準として、事業所の分銅を自社で不確かさの付いた校正を行い、トレーサビリティを確保することを目的とします。

ここでは、そのための基礎知識と具体的方法、手順について講習します。

- 主としてM1級～M3級の分銅を対象とした講習(テキストはF2級にも対応)
- 分銅の校正方法(校正の基本式、測定条件、測定手順、値付け計算表と手順)
- 分銅の校正における不確かさの要素と条件選択、不確かさ計算表と手順  
(注) 「不確かさ」そのものについての解説は行いません
- ISO-9001等の品質マニュアル体系に付随可能で技術的妥当性のある校正マニュアルの構成例とトレーサビリティ性を示す校正結果報告書の例

- 5 講習受講者には、講義で使用する手順書及び観測紙、計算表、校正報告書の各様式を、事業所における校正マニュアル策定の見本としての使用を許諾します。  
また、受講者には修了証を発行いたします。
- 6 講師 河原紀男(元 島津製作所 質量校正担当部長) ほか
- 7 受講者定員 30名 (先着順で受け付けます)
- 8 申込み方法 参加希望者は、下記申込書に記入の上、E-mail FAX 郵便で  
1月25日(水)までにお申込みください。  
可能な方は、表計算ソフトExcelを実装したノートパソコンをご持参  
下さい。(ACコンセント不足の為 十分充電しておいてください)
- 9 受講料 10,000円 [含: テキスト, 同付属書, 計算表等ファイル(USBメモリ)]  
当日お支払いください。

申込先 〒602-0918 京都市上京区室町通り中立売上ル薬屋町  
京都府計量検定所内  
一般社団法人 京都府計量協会  
e-mail : kyotofu@kyoto-keiryō.jp  
Tel: 075-415-3166 Fax: 075-415-3171

## 分銅の自主校正講習会参加申込書

年 月 日

平成29年1月30日(月)開催の「分銅の自主校正 講習会」に「参加」します。

(企業名、氏名は正確にお願いします)

御社名：  所属部署：	住所：〒	御氏名：  ※氏名ふりがなをご記入ください  <input type="checkbox"/> 計量士 計量士の方は <input type="checkbox"/> にチェックマークを入れてください(塗りつぶしでも可)
	電話 /FAX番号	
	メールアドレス：	
御社名：  所属部署：	住所：〒	御氏名：  ※氏名ふりがなをご記入ください  <input type="checkbox"/> 計量士 計量士の方は <input type="checkbox"/> にチェックマークを入れてください(塗りつぶしでも可)
	電話 /FAX番号	
	メールアドレス：	